

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

横浜市さつきが丘地域ケアプラザ

■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

地域の現状と課題について

ケアプラザの担当エリアの高齢化率は平成 30 年 9 月 30 日現在 20.31%となっている。高齢化が年々進んでいくエリアのため、介護予防や閉じこもり防止などに役立つプログラムをケアプラザ内で開催すると共に、地域にも出向いて活動を行ってきた。また、担当エリア（隣接も含む）には小学校 2 校、中学校 1 校が立地している。高齢者等を地域で支え合う意識の醸成を子どものころから育成するため、学校との連携も活発に行うと共に、地域に住む子育て中の親や未就学児童を対象にした活動も行い、次世代に向けての継承者を育てる事業を行った。また、デイサービスなど高齢者向けの施設であるという印象が地域に定着しがちであるが、ファミリー層や子供たちにも目を向け参加できる場づくりと全世代の為の地域の活動の場である事を継続的に地域にアピールしていく事が出来る仕組みを構築していく取り組みを行った。

なお、青葉台連合自治会・青葉台地区福祉協議会のエリアを青葉台地域ケアプラザと当ケアプラザが協力して地域の課題等について共有している。この地域は、以前から自治会や社会福祉協議会、民生委員児童委員、老人会など様々な団体が活発に行われており、共通する活動については 2 つのケアプラザが日頃から連携を取り情報共有を行っている。

(1) 相談（高齢者・こども・障害者分野等の情報提供）

[高齢者]

包括 3 職種が区役所と連携をとり、どのような相談にも継続して対応できるよう、分科会や連絡会、包括カンファレンス、その他研修会などへ参加し、スキルアップを図った。また、虐待や成年後見人、認知症などの周知や啓発活動も積極的に行った。

[こども]

区の子ども家庭支援課や子育て支援拠点「ラフル」との連携を図り、子育てに関する情報の提供を行った。相談内容に応じて専門機関や担当者へ引継ぎ、ワンストップの相談体制をとるよう心がけた。障がい・子どもに関する専門機関とも（教育機関、地域活動ホーム、生活支援センター）連携し、きめ細かく個人のニーズに対応できる体制づくりを行うことができた。

[障害者]

地域活動ホーム「ステップ」、青葉区生活支援センター「ほっとサロン青葉」、青葉区障がい者後見的支援室「ほっぷ」及び横浜市中途障害者地域活動センター「青葉の風」などと連携をとった。

(2) 各事業の連携

前年度に引き続き、地域包括支援センターと地域活動交流部門が連携し、講座毎にケアプラザの機能などについて周知していくことができた。

今年度は職種間で連携し、新しいボランティア「劇団さつき」を育成、立ち上げを支援した。権利擁護講座では「防犯」をテーマに劇団員による「寸劇」を取り入れて地域の方に分かりやすく啓発活動を行った。

各事業を通して、包括・地域交流・介護保険事業（居宅介護支援・通所介護）の連携をとり、個別の課題、地域の課題について、定例会議の場で情報共有をしていくことができた。

またケアプラザに来館される方への声掛け等から、住民の健康状態や一人暮らしの方の生活状況を会話の中で情報収集し、明らかとなった課題を抽出し、支援に結び付けた。場合によっては講座等の長期欠席者などには専門職から連絡を取るなど適宜対応していくことができた。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

地域包括支援センター・地域活動交流・通所介護・居宅介護支援の4つの事業を実施するにあたり、それぞれの基準に則り、資格を持った人員を配置している。また、28年度から配置された生活支援コーディネーターも含めて、包括支援センター3職種・地域活動交流コーディネーターと合わせて、5職種連携で事業に取り組んでいる。

職員の育成は一人一人がプロとして自信をもって職務を遂行できるように、常勤・非常勤を問わず、外部研修に積極的に参加させ、個人のスキルアップを図るとともに外部研修に参加した職員には報告を義務付け、所内研修での情報の共有化を図った。特に新任の職員には、すぐ実践で役立つ基礎知識や実務に関する外部研修を受講させている。また毎月行われる法人内研修にも、積極的に参加した。

公正・中立性の確保については、職員全員が福祉関連の資格を保持しており、その重要性を十分認識しているが、毎年、利用者アンケートや研修等により、公正・中立に関する意識付けを欠かさないようにした。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

青葉台地区社会福祉協議会理事会や、かがやく青葉台推進会議に出席し、地域の関連団体や機関との情報交換を積極的に行うことができた。また、包括エリア内の学校や、地域の行事にも積極的に参加し、地域諸団体との交流や顔の見える関係づくりを行った。

地域福祉保健計画地区別計画の推進では、3ヶ月に1回支えあいネットワーク（平成29年度から協議体としての位置づけ）を開催し、地域の代表者や行政と共に、情報共有と課題解決に向けての活動を行った。また、地域の様々な行事に参加し顔の見える関係作りも積極的に行った。

(5) 区行政との協働

青葉区地域福祉保健計画を踏まえ、ケアプラザが地域の福祉保健の拠点施設としての役割を認識し、活動及び地域支援を行った。また、区役所、区社会福祉協議会と連携し、子供から高齢者まで幅広い年齢層に対しケアプラザに興味を持っていただき、活動に参加いただけるよう、ケアプラザ全体として事業に取り組んだ。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- ・地域のニーズを把握し、地域福祉のために新たな取り組みを行った。
- ・高齢者の生きがいや健康、認知症予防に重点をおき仲間づくりにも繋がる講座開設した。
- ・育児ノイローゼや虐待を未然に防ぐため親子の居場所づくりが広がり、子育て支援ボランティアの発掘、育成、マッチングができた。
- ・小中学生が集える講座や自学習に取り組める居場所の提供を行い。また、放課後開催の子ども食堂と連携しながら「放課後支援」プログラムの導入を試み、団体活動へと発展した。同時にその活動を支えるボランティアを募ることができた。
- ・多世代交流の場を設け、近所づきあいが活性化できるように顔の見える関係づくりにつながる講座を継続しておこなった。
- ・青葉区社協、日本赤十字社との共催で「防災」や「救命」に備える資格取得講座を開講し、地域の自治会防災担当者などにも周知し、20名が修了した。年度内にフォローアップ講座を行い、ボランティアとして継続した活動ができるような呼びかけときっかけづくりを行った。
- ・区やラフルと連携し、地域の子育て支援従事者や児童民生委員で地域の子育て世代の現状についてのアンケート調査を行い、結果を共有し意見交換会を行った。同時にケアプラザを周知し、地域の相談窓口の役割であることを再認識してもらった。
- ・地域包括との連携し「健康に関する講座」「認知症への理解」「ボランテ育成」の講座を定期的を開講した。包括の権利擁護講座を広く、わかりやすく啓発するために劇団グループを立ち上げて「防犯講座」で「還付金詐欺」、「オレオレ詐欺」の寸劇を行った。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

貸館の予約状況は、3ヶ月先まで予約表を明示し、空き状況を即時更新した。健康づくりなどの講座を夜間、日、祝に開設し、グループ化を目指して、夜間、土日祝の稼働率の向上を目指した。

区や他のケアプラザと協議のうえ、31年度からの予約を毎月1日の一斉予約に変更した。その準備として平成30年12月中に団体に周知し、平成31年1、2月から新制度を取り入れた。高齢化が進む中予約日の把握、予約のための来館の道のりなどが理由で変更した結果、地域からは分かりやすいという声が多かった。

上半期に、貸館を行っている団体へのケアプラザの利用の仕方の周知徹底と団体同士の顔の見える関係づくりを目的に、説明、懇親会を行った。年間を通じてそれぞれの会の運営が円滑に運ぶように、後方支援を行った。

「子ども食堂」や「青葉中高生ミュージカル」などの子育て支援団体にも活動が円滑化できるよう配慮した。

地域新しい人材の発掘を目的に「多世代・異世代交流」が集まれる企画を行い、ケアプラザの周知、地域住民の幅広い層へのアプローチを行った。

貸館の空き部屋を有効に活用できるように、昼食スペース、学習スペース、トイレや授乳、クールビスとしての「居場所」とを周知、実際に利用できるような呼びかけを強化した。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

平成30年度は子育ての場にボランティアを増やすことができた。年間を通じて広報紙にボランティア活動と呼びかけた。希望者をマッチングし活動に結びつけることができた。区社協の共催事業で「地域さつき劇団」を育成し、館内のみならずアウトリーチでも活躍することができた。デイサービス、秋祭り、福祉まつりや子育て支援などのボランティアを継続し、その中に新しい担い手を発掘し、新しく活動に参加してもらうようにコーディネートした。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・団体に取材をして懇親を深め、活動の様子や会員募集の記事作成を作成し広報紙ひろばの紙面を利用して、自治会回覧、プラザ内の紹介コーナーで掲示した。デイサービスや、包括支援センターの役割が伝わる紙面をつくり、「協力医のコラム」、「健康に関わる情報」の発信も行った。回覧板でも目にひくよう、誌面はカラー刷りとデザイン力UPで問合せ件数の増加に繋がった。広報紙、チラシを定期的に各自治会へ回覧・配布・掲示物として依頼し、区役所はじめ社協などで閲覧できるよう情報提供をしている。ケアプラザの周知拡大のため、回覧版と併用し毎月「区報」を活用し、新しい人材の確保に結びついている。
- ・エリアの幼保小中学校の余暇の前には親子や子供向け講座の企画に盛り込み、その情報を「学校ひろば」と称し、子供や子育て世代の保護者向けに継続発信している。
- ・ケアプラザの自主事業、デイサービスの様子や講座風景をリアルタイムにブログに掲載し、その様子を広く伝達する努力を行った。
- ・部屋利用団体活動の紹介の常設、各活動団体の作品の常設を行っている。自主活動団体の意欲の向上と新規会員の募集にも助力し力を入れて行った。
- ・地域の行事に職員が連携して積極的に参加をした。結果、地域の情報の収集や顔の繋がりに通じた。民生児童委員、学校コーディネーターとの交流と情報共有を行い、顔の見える関係づくりを行っている。
- ・運営協議会のメンバー他、区や社協の職員を招き、年に2回に「食事会」を行った。多年に渡り地域貢献をしている、さつきが丘地域ケアプラザの自主活動団体の活動の様子と情報の共有、意見交換の場を設けることができた。
- ・回覧板以外で、区報を利用しケアプラザの周知も継続的に行った。活動後はリアルタイムにブログ更新を行い興味が深まるような記事づくりを行った。タウンニュースやイツコム取材も活用した。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- ・毎月包括会議を開催し、5職種・所長との情報交換・共有を行っている。また所長・主任ケアマネジャー・地域交流コーディネーターとの4者会議を活用しながら、日常的に情報共有した。
- ・毎月区と包括カンファに参加し、地域の事例について連携・情報共有した。生活C○が主体となり5職種・所長で協力して課題・目標シートを作成し情報共有した。
- ・エリア内の自治会、老人会、地域の活動団体の活動と連携強化につとめた。保健活動推進員の全体会へ定期的に参加した。生活支援サービスや生活支援コーディネーターについてより多くの住民の方に知っていただけるよう、引き続き広報活動を実施する。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ・平成28年9月より、地域交流部門と協力して広報紙ひろばの編集に携わっている。ほぼ毎月「自主活動団体の紹介記事」を連載、その内容を自主活動団体チラシ集として地域住民やケアマネジャー等への情報発信として活用できるようにしており、来館者や相談者などへもお渡しして新たな人材の発掘につながっている。新メンバーの募集をしていた「粋生きクラブ」をはじめとした、各グループにメンバーが加わるきっかけともなった。
- ・各自治会や老人会などでの活動情報を収集し、生活支援情報として「ふれあいマップ」作成、配布した。青葉台・もえぎ野・さつきの3CPエリアで2月開催した介護予防従事者研修で、ケアマネジャーに説明し、配布した。ケアプラン作成等に有効的に活用されている。
- ・区民活動支援センターの「まち活カフェ」に参加し、地域デビューの実践ノウハウを得た。ボランティア講座を地域交流コーディネーターと協力し実施しており、団体や人をつなぐことができた。
- ・地域住民の生活支援サービスへのニーズによりテーマを設定し、今年度は、広報紙を活用して生活支援コーディネーターの役割と機能について情報発信した。
- ・地区社協とは福祉まつりや子どもハロウィンまつりなどを通じて連携した。活動団体メンバーの方に、生活支援の担い手をされている事例などの情報収集を行った。
- ・平成28年8月より高齢者の日曜日の居場所づくりと介護者のリフレッシュのための映画上映会「さつきシネマ」実施を継続。運営ボランティアを育成した。次年度以降の住民主体の活動「シネ☆あおば」として継続していく。
- ・「劇団さつき」を立ち上げた。ケアプラザとしては、地域交流コーディネーターと協力し、地域住民が参加して地域包括支援センターの権利擁護講座の中で振り込め詐欺防止の啓発について寸劇を行う講座の立ち上げを支援した。劇団は安心安全まちづくり荏田駅前パトロール出陣式、新荏田自治会などから出演の依頼を受けてボランティア団体として出演し、好評を得た
- ・エリア内3箇所の自治会館で行われている茶話会、食事会、餅つきなどの行事へ参加し、顔の見える関係づくりを行った。

(3) 連携・協議の場

- ・青葉台地区支えあいネットワーク（協議体）年4回開催
青葉台駅中心に隣接する2つのケアプラザという環境を活かし、青葉台地域ケアプラザと協力し第3期青葉区地域福祉保健計画の青葉台地区の目標の一つである「地域の人材を掘り起し、まちづくりへの参画を促す」活動を検討した。地域セミナーやゆるやかな見守りネットワークを提案した。
- ・かがやく青葉台推進会議（青葉台地区地域福祉保健計画）年2回開催
青葉台地区の地域福祉保健計画の推進と策定に向けての標記推進会議に参加し、住民主体の地域づくり推進を支援した。
- ・青葉台南部地区ふれあい見守り事業地区連絡会（協議体）年1回開催
2月に青葉台南部民児協が主催で、青葉区役所、区社協、地区社協、自治会、保健活動推進員、老人会などの地域住民が参加してふれあい見守り事業についての活動状況報告と意見交換などを行った。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ・青葉区地域活動リスト「青葉かがやく生き生き活動情報」の発行
横浜市で運用がスタートした地域生活支援情報サイト「Ayamu」へのデータ集積を推進した。区では、この情報を青葉区地域活動リスト「青葉かがやく生き生き活動情報」として発行し、当ケアプラザエリアとしては、来年度に、横浜市介護予防・生活支援サービス補助事業のサービスBに申請を予定している配食サービス・ポポロの情報を紹介することができた。
- ・生活支援に関する研究会やヒアリングの実施
生活支援サービスの具体的なニーズに対応し電球の交換などの情報化を行った。地域住民が自らの生活上のお困りごとについて、その改善策を見つけるための取り組みとして研究会などを計画し実施にいたっていないが、今年度は広報紙「ひろば」で生活支援コーディネーターの役割と機能を地域に向けて発信した。
- ・青葉区生活支援コーディネーター連絡会において、「青葉区生活状況調査 2018」を実施。アンケートグループの役割を担い、活動を行った。要支援1・2、要介護1・2の軽度の認定を受けている利用者を対象としたアンケートを実施した。12月に報告書の作成ができ、アンケートに協力していただいた居宅介護支援事業所にアンケート結果等をお返しした。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

①地域におけるネットワークの構築

配食、移送、自費ヘルパーなどのインフォーマル情報は、社会福祉士分科会で、定期的に情報の更新管理を行った。

地域のサロン（多世代交流カフェ含む）、老人会、元気づくりステーション、ふれあい広場（地区社協主催）、ケアプラザで開催される活動等において、地域包括支援センターが地域の身近な相談窓口であることの周知を行った。

包括カンファレンスでは、民生委員児童委員とケアマネジャー・サービス事業者（通所系のサービス事業所）との相互理解の場づくりを開催し、ネットワーク構築を推進した。毎月開催の、青葉台南部民児協の会合において、冒頭の時間を頂き、情報提供・意見交換を行ない、顔の見える関係づくりに取り組んだ。

②実態把握

社会福祉協議会や区役所と連携し、年1回程度地区アセスメントを行っている。包括エリア地域ケア会議で、参加者への情報提供・意見交換を行った。

相談以外に来所された住民やサービス事業者と積極的にコミュニケーションをとり、地域や利用動向等の情報の把握を積極的に行っている。

月1回活動している、ボランティア主体の「はなみずき」の配食を支援し、独居高齢者等の安否確認を連携しながら行っている。

③総合相談支援

包括3職種で相談票の管理を通じて、情報共有に努めており、迅速かつ継続的な支援体制を構築している。

個々の事情が異なる相談に的確に対応できるように、社会資源の情報収集を行い、必要に応じて、相談ニーズに合ったサービスや機関等を紹介できるようにしている。また介護予防事業の普及にも力を入れている。

継続支援ケースについては包括3職種で情報共有し、連携してフォローしている。対応困難事例、虐待事例については、速やかに区に報告し、情報を共有するとともに、連携して、継続的な支援につなげている。

(2) 権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

成年後見サポートネットワーク(5回/年)に参加し、専門職や市民後見人との意見交換や、専門職として意識・知識の向上に努めている。また最新の消費者被害情報を住民が集まる場をとらえて、周知に努めている。

エンディングノート(わたしノート)の書き方講座(もえぎ野と共催・年1回)を通して、成年後見制度の普及啓発を行った。

高齢者が集う場に出向き、制度の話、「わたしノート」の紹介、消費者被害防止にまつわる話等を適宜行ったほか、青葉警察署、区役所地域振興課、さつき劇団(地域住民)との協働による地域向けの「防犯講座」を開催した。

区長申立てにつなげた事例はなかったが、そうした相談が来た場合には、迅速に対応できるように体制は整えている。

社会福祉士が中心となって、相談ケースの支援を行っている。3職種で連携し相談ケースの共有をしている。相談の際には、必要な資料一式を提供するとともに、手続きや制度における留意点について説明を行っている。

社福士分科会相談チームに社会福祉士が所属し、ケアマネジャーや介護保険サービス事業所へ成年後見制度についての研修を行った。

②高齢者虐待への対応

虐待事例については、速やかに区に報告し、情報を共有するとともに、連携して、継続的な支援につなげている。

区や関係機関と連携し、ネットワークミーティングの開催支援を行っている。

ケースの継続支援・終了などの判断は、適宜区や関係機関と相談しながらネットワークミーティング等で判断を行っている。

虐待を予防する観点から、「介護者のつどい」などで介護者支援を行っている。

③認知症

老人会、エリア内の小中学校(計3校)、地域住民、施設ボランティア等を対象に認知症サポーター養成講座を開催した。

区の認知症支援者連絡会に出席し、認知症支援のネットワークづくりを検討し、認知症になっても安心して生活できる地域づくりを目指し、キャラバンメイトなど地域で活躍する関係者との意見交換を行い、活動支援を行った。

個別レベルの地域ケア会議でも、認知症の方の地域生活継続を取り上げ、地域の体制づくりについて検討を進めている。

民生委員児童委員協議会の定例会をケアプラザで実施している。定例会で時間を毎回いただき、地域情報の共有や、民生委員の活動の支援となるような情報提供を行うなど、情報連絡体制だけでなく、認知症の疑いのある人の相談等にも力を入れている。「介護者サポートほっとあおぼ」やキャラバンメイトの協力のもと、「介護者のつどい」

を年10回開催した。それぞれの体験や工夫したこと、悩みなどを共有できる場として参加者が利用できるよう、引き続き介護者支援を推進していく。
認知症カフェ（多世代交流カフェ）である、しらとり café(10回)・つつじ café(9回)を継続開催し、ケアプラザまで遠い場所に住む方々にも身近な場所で気軽に立ち寄れる交流の場・居場所として定着するよう支援を行った。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①地域住民、関係機関等との連携推進支援

年9回開催の包括カンファレンスで意見交換の場を設けている。また、事業所に1回程度訪問し、ヒアリングを実施している。
広報紙などを活用し、包括カンファレンスで介護サービス事業所等に定期的に情報提供を行っている。

関係機関やボランティアと連携を図り、介護認定を受けている方も、参加しやすいような配慮をしている。地域ケア会議で、これらの課題を検討した。

小学校で開催した認知症サポーター養成講座に、本年度キャラバンメイトとなった住民と協力して開催した。また、地域密着型サービスの事業所の職員に協力いただいた。児童やその親世代が介護事業所や介護職の役割を知るきっかけとなった。

また、地域住民の集まる場で、介護保険制度に関する講話を行い、周知を図った。ケアマネジャーと訪問看護・介護事業所と民生委員の連携をテーマにしたカンファレンスを年1回開催した。

地域密着型サービスが開催する運営推進会議を、円滑に開催していけるよう開催支援を行った。

②医療・介護の連携推進支援

医療と介護の連携をテーマとしたカンファレンスを年2回開催した。

①認知症について（昭和大学藤が丘病院 脳神経内科の医師を招いて医療機関との連携と認知症やその疑いのある方の受診や家族支援についての研修会を開催した。）

②急性期から慢性期、訪問診療までを行っている医療機関の医師や看護師・医療ソーシャルワーカーとの意見交換を行った。

エリア内にある医療機関（医師・歯科医師・薬剤師）を、年1～3回訪問し、顔の見える関係づくりの構築に努めた。訪問時に個別ケースの相談をされる機関もあった。

在宅医療連携拠点と、個別のケースにおいて連携を取った。事例検討会や多職種連携会議、市民向け講演会などの情報を地域住民やケアマネジャーに情報提供を行った。

③ケアマネジャー支援

電話や窓口においてケアマネジャーからの相談対応を3職種が協力して行っている。エリア内の居宅介護事業所へ月1回以上訪問するなど相談支援を行っている。担当者会議の開催支援やファシリテートの役割を担い相談しやすい関係を構築している。

①生活支援コーディネーターが中心となり、要支援～要介護2までの利用者を担当しているケアマネジャーを対象に生活支援に関わるアンケートを実施し、区内ケアプラザで集計を行いケアマネジャー連絡会で、アンケート結果と分析した内容を説明した。

②事業所訪問などで得た情報をもとに事例検討会の企画を行った。生活困窮のケースの事例検討を行った。区役所 生活支援課の職員に参加いただき、生活支援課との連携や相談までのプロセスを学ぶ機会となった。

③ケアマネジャーと個別地域ケア会議の振り返りを行った。
(包括カンファレンスにて)

④主任ケアマネジャー分科会 CM 支援担当が中心となり、新任ケアマネジャー実習支援を行い。支援内容などの検討を行い開催支援した。ケアマネジャーが地域の中で、どのような活動が出来るかをテーマに実習を行った。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

個別ケース地域ケア会議とエリア会議を年3回開催。医師や訪問看護師などの医療職に出席してもらい、医療的な観点からの意見をもとに課題の検討する事が出来た。

地域住民や介護保険サービス事業所の資質向上と今後の支援の参考となる連携体制を構築する事が出来た。

今回の地域ケア会議のケース選定において、振り返りしたことを踏まえ、課題解決に向けた連携・協働の準備と調整を実施した。地域ケア会議での内容を、ケアマネジャーとともに情報・意見交換を行っている。

青葉台南部民児協主催のふれあい見守り連絡会の時間をいただき、包括エリア地域ケア会議の開催を行った。積み重ねてきた個別ケースの課題をもとに、地域での共通の課題を抽出し検討していく。残された課題についての問題解決機能として地域での中核的な役割を担っている。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

日々の相談業務・モニタリング・担当者会議等を丁寧かつ適切に行いご本人ご家族の要望をききつつ、自立や強みを生かした支援・計画に取り組んでいる。3職種による、対象者へのコンサルテーション、方針の確認を随時行っている。要支援者自立者の介護予防を目指した在宅生活を目指し、計画を整えている。

担当者会議、運営推進会議、地域ケア会議、介護予防従事者研修など様々な機会をとらえ関係者や対象者に、地域情報・課題を周知している。広報誌やチラシにインフォーマル情報わかりやすく掲載し、ケアマネジャーがプラン作成時に生かせるよう心掛けている

介護予防従事者研修を区全体で1回・青葉台・もえぎ野・さつきが丘の3包括合同で1回開催した。ICFの視点に基づいたケアプラン作成を学ぶため、生活支援コーディネーターと連携して行った。ケアマネジャーが、地域のインフォーマル情報を知り利用者に情報提供でき、ケアプランに位置づけられるようなきっかけとした。

介護予防支援事業に関わる情報提供を行っている。地域包括支援センターが、ケアマネジャーにとって身近な相談機関であることを周知し、信頼のできる関係性を構築していく。地域ケア会議の報告をケアマネジャーに実施し、地域理解を深められるような場を企画した。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

「いつまでも自分で動ける身体づくり」を目指し、アクティブセルフケア13回、栄養講座「さつき食堂」4回を開催した。コグニサイズを取り入れ地域住民に発信した。住民の集う場に出張し、口腔・栄養・体操などを取り入れた介護予防講座を高齢者が集う場（かえでの会など）において、健康知識の普及と定着を目指し取り組んだ。

介護予防や健康に関する情報は、協力医と協議して広報誌などの媒体を活用し、住民への周知と情報提供をおこなった。

住民が集う場で開催する各講座にて、健康教育とともに啓発普及（口腔ケア・栄養・運動についてなど）を計画実施している。

一昨年実施の、介護予防普及啓発事業「のびのび体操クラブ」が「アクティブセルフケア」となり、講師・参加者が自主的に活動を行うことが出来た。「朝活体操(土曜朝月2回)」については、ボランティア講師の支援を継続的に行った。2つの自立したグループは、今後も支援していく。
3つの元気づくりステーションは、区と連携しながら、ボランティアの運営・活動支援を継続している。

5 その他

| |
|--|
| |
| |

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

基本協定書に基づき、指定管理者として適切な建物及び設備の維持管理を行った。経年劣化により故障や不具合が生ずる設備が増えてきている。施設を利用される方たちへの安全確保を優先し、専門業者による定期的な点検や、不具合については区と迅速な事前協議を行い改善に取り組むことが出来た。

また、職員による日々の点検・清掃を行い、屋内外の良好な環境を維持し、利用する方々が気持ちよく安全・安心・清潔な施設を利用していただけるように保守管理を行った。内部だけでなく、外から見ても不快感を与えることのないように、植木の手入れについては業者での剪定を行い、雑草取り、落ち葉・枯葉の清掃は職員での一斉作業により美化活動に取り組むことが出来た。

(2) 効率的な運営への取組について

法人の基本理念に則り、公益性・公共性を重視した運営と、地域包括ケアシステムの推進の為に、行政機関・医療機関・薬局・介護保険事業所などや自治会・地域住民・ご利用者及びその家族など関係者と連携をとり、前年度に引き続き質の高いサービスを提供することができた。

ゴミ処理については、徹底したゴミの分別やリサイクルを行った。また、節電・節水など省エネに努め、ムリ・ムダ・ムラのない効率的な運営を職員の協力により行う事ができた。

業務については、見直しを行い、効率の良い勤務体制を作っていった。また、ボランティアの発掘と育成についても、支えあいネットワークと連携し、継続した活動ができるように協力や提言を行っている。

(3) 苦情受付体制について

当法人作成の「苦情対応マニュアル」を基に、苦情相談窓口の文書を玄関に掲示し、その中に責任者名・担当者名・第三者委員名を明記するほか、横浜市の「ご意見ダイヤル」のポスターを貼り出すなど、意見が言いやすい環境づくりを心がけている。

些細な苦情といえども、迅速で適切な対応を行い、誠意をもって対応するようにした。

介護保険事業については、重要事項説明書に担当者名を記載するとともに、区役所と神奈川県国民健康保険団体連合の所在地と電話番号を記載し、公的機関に対しても苦情申出等ができることを説明している。

また、ご意見箱を事務所から離れた所に設置することで、匿名希望の方からの意見も聞きやすい環境を作っている。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

当法人作成の「緊急時対応マニュアル」を基に、適切な対応を行う。

防犯対策として、夜間の時間帯は必ず2名の職員が勤務し、閉館時は警備会社による機械警備を行う。またパソコンにはすべてセキュリティーキーをつけ、盗難に備える。またパスワードの設定を徹底するなどの対策を怠らないようにした。

防災対策として、避難訓練を年間2回実施し、デイサービスの利用者に加え、貸館の利用者にも参加してもらい、火災の場合の避難や地震の時の対応などを行う。また、防災拠点や自治会の防災訓練にも参加することができた。特別避難場所(福祉避難場所)に指定されている施設として、応急備蓄品の適正な管理を行い、緊急連絡網による連絡体制を徹底させる。

(5) 事故防止への取組について

当法人作成の「事故対応マニュアル」の周知と研修の実施により、事故を起こさないよう常に注意を呼びかけ、また事故が起きてしまった場合には、速やかに対応し、青葉区役所や横浜市への報告も行う。

ヒヤリハットが起きた時には、全員の共通課題として取り組み、原因についての検証と今後の改善策を話し合う。

デイサービス送迎で使用する車両に、ドライブレコーダーを設置している。この装置は、自動車保険会社が提供している装置で、日ごろの車輛運転状況も、急ハンドル、急加速、急減速といった項目で、ネット上でいつ、どこで、どの車が、何をしたといった情報を得ることが出来る。日頃事務連絡車として使用している軽自動車には設置していないが、運転状況報告を職員で共有し車輛安全運行にも、施設全体で取り組んでいる。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

年度初めには、常勤・非常勤を問わず、職員全員に対し個人情報保護に関する研修を行い「個人情報保護に関する誓約書」に署名をもらい、横浜市長に提出した。中途採用の職員も同様に、その都度行うとともに、常に緊張感を持って個人情報に接するよう注意を促している。

法人としても法人内研修で個人情報保護に関する研修を行いケアプラザのみでなく法人全体で個人情報保護に心がけた。

「個人情報取扱規程」の基づき、漏洩防止・保護に努めた。

個人情報保護方針・個人情報問い合わせ担当者などを決めて、玄関に掲示している。

(7) 情報公開への取組について

法人のホームページとブログを有効に活用するとともに、広報紙を毎月発行し、自治会へ回覧すると共にケアプラザ内での広報活動、区役所や青葉区社会福祉協議会に設置されているケアプラザ用チラシも活用し地域に情報提供を行った。また、近隣の学校向け広報紙を作成し、年に数回学校に協力いただき、生徒への配布をお願いしている。

区報への情報掲載、横浜市や青葉区などの公的機関のホームページの活用や、介護サービス情報の公表を更新するなど、地域の多くの方にケアプラザを知っていただくよう広報活動に努めている。

事業計画書・事業報告書・予算書・決算書などを、いつでも誰でも見られるようにファイルして、受付カウンターの横に設置し閲覧可能としている。

一法人としてではなく、公的機関の一員であるという責任の重さを職員が自覚し、情報公開の取り組みを行っている。

(8) 人権啓発への取組について

地域住民すべてが、住み慣れた地域社会において幸福な生活が営めるように人間として当然に持っている固有の権利を行使できるように支援している。

ケアプラザが、地域住民へ啓発活動を続けていき、虐待や消費者被害などについて、包括カンファレンスや地域の老人会サロン等の場を活用し周知を行った。

次年度も、わたしノート（エンディングノート）についても、専門職による地域住民向け講座を行っていく。

(9) 環境等への配慮及び取組について

節電・節水等を職員一人一人が心がけている。

エアコンの室温設定温度は、夏は28度、冬は20度を目安にし、照明も明るさをそれほど必要としない場所の蛍光灯は数を間引くなど節電対策を行っている。また、館内に、節電を呼びかけるチラシを掲示し、利用者にも趣旨を理解していただき協力をお願いしている。26年度に災害用の非常電源の確保事業で屋上に太陽光蓄電池が設置された。微量であるが非常用逐電装置からでた電気を動力系統で活用し、建物全体の電気量の軽減も役立てていく。

ごみの分別については、公共施設としてのゴミのルート回収に参加し、分別の徹底（紙類・燃やすごみ・金属・プラスチック・ペットボトル等21種類に分類）や減量化、リサイクルの促進に努めている。ペットボトルのキャップやプリンターのカートリッジは回収ボックスへ、牛乳パック・空き缶・ペットボトルなどはデイサービスで行うゲームや工作の材料として使用するよう工夫し再資源化に取り組んだ。

印刷物の裏紙は、積極的に所内容プリント用紙やメモ用紙として活用ゴミの軽減化に努める。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

| | |
|-----------|------------|
| 管理者 | 1名（常勤 兼務） |
| 保健師 | 1名（常勤 専従） |
| 社会福祉士 | 1名（常勤 専従） |
| 主任ケアマネジャー | 1名（常勤 兼務） |
| プランナー | 1名（非常勤 専従） |

《目標に対する成果等》

日々の相談業務・モニタリング・担当者会議等を丁寧かつ適切に行いご本人ご家族の要望をききつつ、自立や強みを生かした支援・計画に取り組んでいる。3職種による、対象者へのコンサルテーション、方針の確認を随時行っている。要支援者自立者の介護予防を目指した在宅生活を目指し、計画を整えている。

担当者会議、運営推進会議、地域ケア会議、介護予防従事者研修など様々な機会をとらえ関係者や対象者に、地域情報・課題を周知している。広報誌やチラシにインフォーマル情報わかりやすく掲載し、ケアマネジャーがプラン作成時に生かせるよう心掛けている

介護予防従事者研修を区全体で1回・青葉台・もえぎ野・さつきが丘の3包括合同で1回開催した。ICFの視点に基づいたケアプラン作成を学ぶため、生活支援コーディネーターと連携して行った。ケアマネジャーが、地域のインフォーマル情報を知り利用者に情報提供でき、ケアプランに位置づけられるようなきっかけとした。

介護予防支援事業に関わる情報提供を行っている。地域包括支援センターが、ケアマネジャーにとって身近な相談機関であることを周知し、信頼のできる関係性を構築していく。地域ケア会議の報告をケアマネジャーに実施し、地域理解を深められるような場を企画した。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

●なし



《その他（特徴的な取組、PR等）》

担当制により、3職種の専門性を生かし、チームとして利用者に対応し、必要に応じて連携を取りながら支援を行っていく。また、地域の社会資源やインフォーマルサービス等を組み合わせたプランの作成を積極的にすすめていく。

包括エリアでの介護予防従事者研修を開催し、介護予防支援事業に関わる情報提供を行っている。地域包括支援センターが、ケアマネジャーにとって身近な相談機関であることを周知し、信頼のできる関係性を構築していく。地域ケア会議の報告をケアマネジャーに実施し、地域理解を深められるような場を企画した。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

| | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
| 118 | 115 | 120 | 121 | 120 | 122 |
| 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 118 | 121 | 122 | 122 | 118 | 119 |

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者 1名（常勤兼務）
 介護支援専門員 5名（常勤専従 3名）
 （非常勤専従 2名）

《目標に対する成果等》

特定事業所加算Ⅱの事業所として、計画的な研修の実施および介護支援専門員1人ひとりの個別研修計画を作成し、ケアマネジメント技術を向上すると共に、ご利用者のご家族が、安心して自立した在宅生活を送る事ができるよう支援を行った。

また、24時間の相談連絡体制を確保し、週1回のカンファレンスを行い、支援困難ケースについても積極的に受け入れた。

- (1) 利用者の意思および人格を尊重し、常に利用者の立場に立ち、提供されるサービスが特定の種類・事業所に偏らないよう公平中立な立場で支援を行った。
- (2) 利用者の能力に応じ、自立した生活を維持するために適切なサービスが受けられるよう、心身の状況や環境、家族、介護者の希望を把握し、要介護状態の悪化防止となるようなケアプランを作成した。
- (3) 利用者宅を定期的に訪問し、サービス内容についてモニタリングを行い、サービスの実施状況の把握、サービス調整の必要性について確認を行った。
- (4) 介護支援専門員実務研修の実習生を積極的に受け入れた。(1名受託)

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- なし
-
-

《その他（特徴的な取組、PR等）》

地域包括支援センターを有する地域ケアプラザに所属する居宅介護支援事業所として、公平中立な立場でケアマネジメントを行った。

また、契約の有無にかかわらず広く相談を受け、介護保険に関する事項や横浜市の行政サービス、地域の社会資源などの情報提供を積極的に行った。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 139 | 142 | 143 | 132 | 133 | 136 |
| 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 138 | 138 | 135 | 131 | 131 | 135 |

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 送迎
- 健康状態の観察
- 昼食・おやつ
- 生活指導・相談
- 入浴

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

| ● | 1割負担分 | 2割負担分 | 3割負担 |
|--------|--------|--------|--------|
| (要介護1) | 661円 | 1,322円 | 1,984円 |
| (要介護2) | 781円 | 1,562円 | 2,344円 |
| (要介護3) | 904円 | 1,809円 | 2,714円 |
| (要介護4) | 1,029円 | 2,058円 | 3,087円 |
| (要介護5) | 1,153円 | 2,306円 | 3,460円 |

別途

(入浴加算/サービス提供体制強化加算Ⅰ2/個別機能訓練加算Ⅰ/処遇改善加算Ⅱ)

- 食費負担 750円

《事業実施日数》 週 6 日

《提供時間》 9:30 ~ 16:30

《職員体制》

| | |
|-------------|-------------------|
| 管理者 | 1名（常勤1名） |
| 生活相談員 | 4名（常勤専従1名・常勤兼務3名） |
| 看護師/機能訓練指導員 | 4名（常勤1名・非常勤3名） |
| 介護職員 | 11名（常勤兼務3名・非常勤8名） |
| 調理員 | 6名（常勤1名・非常勤5名） |
| 運転手 | 4名（非常勤4名） |

《目標に対する成果等》

通所介護計画書に沿って、個人の目標現実・ADL・IADL 現実維持に向けたサービスを提供した。また、機能訓練計画書に沿った個別機能訓練を実施する事ができた。また、医療面のリスクの高いご利用者様をお受けする事ができた。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

入浴されない方への足浴を実施し、セルフケア不足を補うために爪切り等を行い利用者様のご希望に沿うケアを行った。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 645 | 693 | 684 | 657 | 671 | 650 |
| 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 655 | 633 | 591 | 600 | 566 | 629 |

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 送迎 ●健康状態の観察
- 昼食・おやつ ●生活指導・相談
- 入浴

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分 2割負担分
- （事業対象者） 1,766円/週1回 3,513円/週1回
- （事業対象者） 3,621円/週2回 7,241円/週2回
- （要支援1） 1,766円/月 3,513円/月
- （要支援2） 3,621円/月 7,241円/月
- 別途（運動器機能向上加算/サービス提供体制強化加算1. 2）
- 食費負担 750円

《事業実施日数》 週 6 日

《提供時間》 9:30 ～ 16:30

《職員体制》

- 管理者 1名（常勤兼務）
- 生活指導員 4名（常勤兼務）
- 看護師/機能訓練指導員 3名（常勤2名 非常勤1名）
- 介護職員 11名（常勤3名 非常勤8名）
- 調理員 6名（常勤1名 非常勤5名）
- 運転手 4名（非常勤4名）

《目標に対する成果等》

介護予防通所介護計画書に沿って、個人の目標現実に向けたサービスを提供できた。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

ホットパック、メドマーを使用し、筋肉の動きを和らげ全身の機能を向上させ転倒予防、筋力維持に努めた。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|-----|-----|-----|----|----|----|
| 10 | 9 | 8 | 9 | 9 | 7 |
| 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 6 |

平成30年度「横浜市さつきが丘地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)＜地域活動＞

収入の部

(税込、単位：円)

| 科目 | 当初予算額 (A) | 補正額 (B) | 予算現額 (C=A+B) | 決算額 (D) | 差引 (C-D) | 説明 |
|---------------------|------------|---------|--------------|------------|----------|-----------|
| 指定管理料 | 14,160,022 | | 14,160,022 | 14,160,022 | 0 | 横浜市より |
| 利用料金収入 | | | 0 | 0 | 0 | この列は入力しない |
| 指定管理料充当 事業 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 自主事業収入 | | | 0 | 0 | 0 | この列は入力しない |
| 雑入 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 印刷代 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 自動販売機手数料 | | | 0 | 0 | 0 | この列は入力しない |
| 駐車場利用料金収入 | | | 0 | 0 | 0 | この列は入力しない |
| その他(指定管理料充当) | | | 0 | 0 | 0 | |
| その他(施設使用料相当額 法人負担分) | 3,990,000 | | 3,990,000 | 3,990,000 | 0 | |
| その他(提案時控除 法人負担分) | | | 0 | 0 | 0 | |
| 収入合計 | 18,150,022 | 0 | 18,150,022 | 18,150,022 | 0 | |

支出の部

| 科目 | 当初予算額 (A) | 補正額 (B) | 予算現額 (C=A+B) | 決算額 (D) | 差引 (C-D) | 説明 |
|--------------------|------------|---------|--------------|-------------|-------------|-----------|
| 人件費 | 9,929,133 | | 9,929,133 | 9,775,078 | 154,055 | |
| 本俸 | 7,120,849 | | 7,120,849 | 7,107,933 | 12,916 | |
| 社会保険料 | 615,282 | | 615,282 | 624,645 | △ 9,363 | |
| 手当計 | 2,116,682 | | 2,116,682 | 1,968,564 | 148,118 | |
| 健康診断費 | | | 0 | 0 | 0 | |
| 勤労者福祉共済掛金 | | | 0 | 73,936 | △ 73,936 | マニフレンド |
| 退職給付引当金繰入額 | 76,320 | | 76,320 | 0 | 76,320 | |
| その他 | | | 0 | 0 | 0 | |
| 事務費 | 1,802,832 | | 1,802,832 | 2,403,622 | △ 600,790 | |
| 旅費 | 127,337 | | 127,337 | 139,726 | △ 12,389 | |
| 消耗品費 | 359,280 | | 359,280 | 400,654 | △ 41,374 | |
| 会議随費 | | | 0 | 0 | 0 | |
| 印刷製本費 | 156,966 | | 156,966 | 588,242 | △ 431,276 | |
| 通信費 | 233,376 | | 233,376 | 313,438 | △ 80,062 | |
| 使用料及び賃借料 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 横浜市への支払分 | | | 0 | 0 | 0 | |
| その他 | | | 0 | 0 | 0 | |
| 備品購入費 | 182,145 | | 182,145 | 415,767 | △ 233,622 | |
| 図書購入費 | | | 0 | 0 | 0 | |
| 施設賠償責任保険 | 49,141 | | 49,141 | 66,943 | △ 17,802 | |
| 職員等研修費 | 23,432 | | 23,432 | 31,733 | △ 8,301 | |
| 振込手数料 | | | 0 | 0 | 0 | |
| リース料 | 334,596 | | 334,596 | 239,298 | 95,298 | |
| 手数料 | 3,342 | | 3,342 | 17,826 | △ 14,484 | |
| 地域協力費 | | | 0 | 0 | 0 | |
| その他 | 333,217 | | 333,217 | 189,995 | 143,222 | |
| 事業費 | 42,000 | | 42,000 | 41,774 | 0 | |
| 運営協議会経費 | 42,000 | | 42,000 | 41,774 | 226 | 予算：指定額 |
| 指定管理料充当 事業 | | | 0 | 0 | 0 | |
| 管理費 | 3,609,141 | | 3,609,141 | 7,326,842 | △ 3,717,701 | |
| 建築物・建築設備点検 | | | 0 | 0 | 0 | 予算：指定額 |
| 光熱水費 | 405,977 | | 405,977 | 3,802,458 | 0 | |
| 電気料金 | | | 0 | 0 | 0 | |
| ガス料金 | | | 0 | 0 | 0 | この列は入力しない |
| 水道料金 | | | 0 | 0 | 0 | |
| 清掃費 | 969,920 | | 969,920 | 835,660 | 134,260 | |
| 修繕費 | 474,000 | | 474,000 | 349,064 | 124,936 | 予算：指定額 |
| 機械整備費 | 41,009 | | 41,009 | 136,342 | △ 95,333 | |
| 設備保全費 | 811,030 | | 811,030 | 1,196,396 | △ 385,366 | |
| 空調衛生設備保守 | 536,083 | | 536,083 | 548,028 | △ 11,945 | |
| 消防設備保守 | 38,224 | | 38,224 | 38,224 | 0 | |
| 電気設備保守 | 74,272 | | 74,272 | 74,536 | △ 264 | |
| 害虫駆除清掃保守 | 35,358 | | 35,358 | 35,358 | 0 | |
| 駐車場設備保全費 | | | 0 | 0 | 0 | |
| その他保全費 | 127,093 | | 127,093 | 500,250 | △ 373,157 | |
| 共益費 | | | 0 | 0 | 0 | |
| その他 | 907,205 | | 907,205 | 1,006,922 | △ 99,717 | |
| 公租公課 | 668,320 | 0 | 668,320 | 782,006 | △ 113,686 | |
| 事業所税 | | | 0 | 0 | 0 | この列は入力しない |
| 消費税 | 668,320 | | 668,320 | 782,006 | △ 113,686 | |
| 印紙税 | | | 0 | 0 | 0 | この列は入力しない |
| その他() | | | 0 | 0 | 0 | この列は入力しない |
| 事務経費 (計算根拠を説明欄に記載) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | この列は入力しない |
| 本部分 | | | 0 | 0 | 0 | この列は入力しない |
| 当該施設分 | | | 0 | 0 | 0 | この列は入力しない |
| ニーズ対応費 | | | 0 | 0 | 0 | この列は入力しない |
| 支出合計 | 16,051,426 | 0 | 16,051,426 | 20,329,322 | △ 881,641 | |
| 差引 | 2,098,596 | 0 | 2,098,596 | △ 2,179,300 | 881,641 | |

| | | | | | | |
|---------|---|---|---|---|---|----------------------|
| 自主事業費収入 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 自主事業費支出 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 自主事業収支 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | →自主事業(指定管理料充当の自主事業)費 |

| | | | | | | |
|----------------|---|--|---|---|---|-------------------------|
| 管理許可・目的外使用許可収入 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入 |
| 管理許可・目的外使用許可支出 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 使用料(横浜市への支払等) |
| 管理許可・目的外使用許可収支 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |

平成30年度「横浜市さつきが丘地域ケアプラザ」

収支予算書及び報告書(特別会計)

収入の部

(税込、単位：円)

| 科目 | 当初予算額 (A) | 補正額 (B) | 予算現額 (C=A+B) | 決算額 (D) | 差引 (C-D) | 説明 |
|------------------|--------------|------------|-----------------|------------|-------------|-----------|
| 指定管理料(包括) | 23,336,000 | | 23,336,000 | 24,728,080 | △ 1,392,080 | 横浜市より |
| 指定管理料(介護予防) | 151,000 | | 151,000 | 152,509 | △ 1,509 | 横浜市より |
| 指定管理料(生活支援) | 5,789,000 | | 5,789,000 | 3,985,469 | 1,803,531 | 横浜市より |
| 利用料金収入 | | | 0 | | 0 | この列は入力しない |
| 指定管理料充当事業(包括) | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 指定管理料充当事業(介護予防) | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 指定管理料充当事業(生活支援) | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 自主事業収入 | | | 0 | | 0 | この列は入力しない |
| 雑入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 印刷代 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 自動販売機手数料 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 駐車場利用料金収入 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| その他(指定管理充当分) | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| その他(提案時控除 法人負担分) | | | 0 | 0 | 0 | |
| 収入合計 | 29,276,000 | 0 | 29,276,000 | 28,866,058 | 409,942 | |

支出の部

| 科目 | 当初予算額 (A) | 補正額 (B) | 予算現額 (C=A+B) | 決算額 (D) | 差引 (C-D) | 説明 |
|-------------------|--------------|------------|-----------------|------------|-------------|-----------|
| 人件費 | 22,831,931 | 0 | 22,831,931 | 19,651,320 | 3,180,611 | |
| 本俸 | 11,703,483 | | 11,703,483 | 9,720,638 | 1,982,845 | |
| 社会保険料 | 2,912,506 | | 2,912,506 | 2,486,430 | 426,076 | |
| 手当計 | 7,863,492 | | 7,863,492 | 7,163,616 | 699,876 | |
| 健康診断費 | | | | 0 | 0 | |
| 勤労者福祉共済掛金 | | | 0 | 280,636 | △ 280,636 | ハマふれんど |
| 退職給付引当金繰入額 | 352,450 | | 352,450 | 0 | 352,450 | |
| その他 | | | 0 | 0 | 0 | |
| 事務費 | 2,341,297 | 0 | 2,341,297 | 2,585,689 | △ 244,392 | |
| 旅費 | 111,682 | | 111,682 | 296,014 | △ 184,332 | |
| 消耗品費 | 197,173 | | 197,173 | 146,891 | 50,282 | |
| 会議諸費 | | | 0 | 0 | 0 | |
| 印刷製本費 | 711,194 | | 711,194 | 262,432 | 448,762 | |
| 通信費 | 395,489 | | 395,489 | 324,343 | 71,146 | |
| 使用料及び賃借料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 横浜市への支払分 | 0 | | | | 0 | |
| その他 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 備品購入費 | | | 0 | 1,177,126 | △ 1,177,126 | |
| 図書購入費 | | | 0 | 0 | 0 | |
| 施設賠償責任保険 | | | 0 | 91,097 | △ 91,097 | |
| 職員等研修費 | 92,962 | | 92,962 | 104,891 | △ 11,929 | |
| 振込手数料 | | | 0 | 0 | 0 | |
| リース料 | 528,456 | | 528,456 | 13,932 | 514,524 | |
| 手数料 | 12,485 | | 12,485 | 52,928 | △ 40,443 | |
| 地域協力費 | | | 0 | 0 | 0 | |
| その他 | 291,856 | | 291,856 | 116,035 | 175,821 | |
| 事業費 | 1,113,165 | 0 | 1,113,165 | 4,681,418 | △ 3,568,253 | |
| 協力医 | 630,000 | | 630,000 | 504,000 | 126,000 | 予算:指定額 |
| 指定管理料充当自主事業(包括) | 23,165 | | 23,165 | 39,440 | △ 16,275 | |
| 指定管理料充当事業(介護予防) | 151,000 | | 151,000 | 152,509 | △ 1,509 | |
| 指定管理料充当自主事業(生活支援) | 309,000 | | 309,000 | 3,985,469 | △ 3,676,469 | 予算:指定額 |
| 管理費 | 959,383 | 0 | 959,383 | 1,947,631 | △ 988,249 | |
| 建築物・建築設備点検 | | | 0 | 0 | 0 | 予算:指定額 |
| 光熱水費 | 107,917 | 0 | 107,917 | 1,010,779 | △ 902,863 | |
| 電気料金 | | | 0 | 0 | 0 | |
| ガス料金 | | | 0 | 0 | 0 | この列は入力しない |
| 水道料金 | | | 0 | 0 | 0 | |
| 清掃費 | 257,825 | | 257,825 | 222,136 | 35,689 | |
| 修繕費 | 126,000 | | 126,000 | 92,787 | 33,213 | 予算:指定額 |
| 機械警備費 | 10,900 | | 10,900 | 36,242 | △ 25,342 | |
| 設備保全費 | 215,587 | 0 | 215,587 | 318,026 | △ 102,439 | |
| 空調衛生設備保守 | 142,503 | | 142,503 | 145,678 | △ 3,175 | |
| 消防設備保守 | 10,160 | | 10,160 | 10,160 | 0 | |
| 電気設備保守 | 19,742 | | 19,742 | 19,813 | △ 71 | |
| 害虫駆除清掃保守 | 9,398 | | 9,398 | 9,398 | 0 | |
| 駐車場設備保全費 | | | 0 | 0 | 0 | |
| その他保全費 | 33,784 | | 33,784 | 132,977 | △ 99,193 | |
| 共益費 | | | 0 | 0 | 0 | |
| その他 | 241,154 | | 241,154 | 267,661 | △ 26,507 | |
| 公租公課 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 事業所税 | | | 0 | 0 | 0 | |
| 消費税 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 印紙税 | | | 0 | 0 | 0 | |
| その他() | | | 0 | 0 | 0 | この列は入力しない |
| 事務経費(計算根拠を説明欄に記) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 本部分 | | | 0 | 0 | 0 | |
| 当該施設分 | | | 0 | 0 | 0 | |
| 二一ス対応費 | | | 0 | 0 | 0 | |
| 支出合計 | 27,245,776 | 0 | 27,245,776 | 28,866,058 | △ 1,620,283 | |
| 差引 | 2,030,224 | 0 | 2,030,224 | 0 | 2,030,224 | |

| | | | | | | |
|----------------|---|--|--|---|--|------------------------|
| 自主事業費収入 | 0 | | | | | |
| 自主事業費支出 | 0 | | | | | |
| 自主事業収支 | 0 | | | 0 | | ⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費 |
| 管理許可・目的外使用許可収入 | | | | 0 | | 駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人 |
| 管理許可・目的外使用許可支出 | | | | 0 | | 使用料(横浜市への支払等)、駐車場設備保全費 |
| 管理許可・目的外使用許可収支 | | | | 0 | | |

平成 30年度 横浜市さつきが丘地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市さつきが丘地域ケアプラザ

平成30年4月1日~平成31年3月31日
(単位:千円)

| | 科目 | 介護予防支援 | | | 居宅介護支援 | | | 通所介護 | | | 予防通所介護・第1号通所介護 | | |
|-------------------|---------------|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|-------------|--------------|-------------|---------------|----------------|-------------|-------------|
| | | 予算 | 決算 | 差引 | 予算 | 決算 | 差引 | 予算 | 決算 | 差引 | 予算 | 決算 | 差引 |
| 収入 | 介護保険収入 | 2760 | 2984 | -224 | 27950 | 27035 | 915 | 86320 | 76271 | 10049 | 9090 | 0 | 9090 |
| | その他 | 0 | 3986 | -3986 | 0 | 0 | 0 | 510 | 0 | 510 | 0 | 2729 | -2729 |
| | 介護予防ケアマネジメント費 | | 3986 | -3986 | | | 0 | | | 0 | | | 0 |
| | 事業・負担金収入 | | | 0 | | | 0 | | | 0 | | 2729 | -2729 |
| | | | | 0 | | | 0 | | | 0 | | | 0 |
| | | | | 0 | | | 0 | | | 0 | | | 0 |
| | | | | 0 | | | 0 | | | 0 | | | 0 |
| | その他 | | | 0 | | | 0 | 510 | | 510 | | | 0 |
| 収入合計(A) | | 2760 | 6970 | -4210 | 27950 | 27035 | 915 | 86830 | 76271 | 10559 | 9090 | 2729 | 6361 |
| 支出 | 人件費 | 640 | 759 | -119 | 19029 | 18378 | 651 | 74326 | 47376 | 26950 | | | 0 |
| | 事務費 | | | 0 | 460 | 1370 | -910 | 4218 | 15149 | -10931 | | | 0 |
| | 事業費 | | | 0 | 424 | 255 | 169 | 17282 | 11779 | 5503 | | | 0 |
| | 管理費 | | | 0 | | | 0 | | | 0 | | | 0 |
| | その他 | 2400 | 3189 | -789 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 利用者負担軽減額 | | | 0 | | | 0 | | | 0 | | | 0 |
| | 消費税 | | | 0 | | | 0 | | | 0 | | | 0 |
| | 介護予防プラン委託料 | 2400 | 3189 | -789 | | | 0 | | | 0 | | | 0 |
| | | | | 0 | | | 0 | | | 0 | | | 0 |
| | その他 | | | 0 | | | 0 | | | 0 | | | 0 |
| 支出合計(B) | | 3040 | 3948 | -908 | 19913 | 20003 | -90 | 95826 | 74304 | 21522 | 0 | 0 | 0 |
| 収支 (A)-(B) | | -280 | 3022 | -3302 | 8037 | 7032 | 1005 | -8996 | 1967 | -10963 | 9090 | 2729 | 6361 |

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市さつきが丘地
域ケアプラザ

| 事業名 | ①募集対象者 | 自主事業決算額 | | | | | | |
|------------|-----------|---------|-------|---------|-----|--------|---------|--------|
| | ②参加人数 | 総経費 | 収入 | | | 支出 | | |
| | ③一人当たり参加費 | | 指定管理料 | 参加費 | その他 | 講師謝金 | 材料費 | その他 |
| 食事会①② | 高齢者 | 122,350 | 地活 | 122,350 | | | 122,350 | |
| | 243 | 0 | 包括 | | | | 0 | |
| | 500 | 0 | 介護 | | | | 0 | |
| | | 0 | 生活 | | | | 0 | |
| 古典文学 | 地域住民 | 130,000 | 地活 | 130,000 | | | 130,000 | |
| | 24 | 0 | 包括 | | | | 0 | |
| | 5500 | 0 | 介護 | | | | 0 | |
| | | 0 | 生活 | | | | 0 | |
| 手先イキイキ講座 | 地域住民 | 12,000 | 地活 | 12,000 | | | 12,000 | |
| | 10 | 0 | 包括 | | | | 0 | |
| | 1200 | 0 | 介護 | | | | 0 | |
| | | 0 | 生活 | | | | 0 | |
| さつき食堂 | 地域住民 | 0 | 地活 | 52,200 | | 10,023 | 0 | 52,200 |
| | 63 | 62,223 | 包括 | | | | 0 | |
| | 800 | 0 | 介護 | | | | 0 | |
| | | 0 | 生活 | | | | 0 | |
| 背骨親子リラックス | 地域在住の親子 | 6,682 | 地活 | | | 6,682 | 0 | |
| | 28 | 0 | 包括 | | | | 0 | |
| | 225 | 0 | 介護 | | | | 0 | |
| | | 0 | 生活 | | | | 0 | |
| フレッシュハーブ | 地域住民 | 10,341 | 地活 | 7,000 | | 3,341 | 7,000 | |
| | 7 | 0 | 包括 | | | | 0 | |
| | 1000 | 0 | 介護 | | | | 0 | |
| | | 0 | 生活 | | | | 0 | |
| 干支人形 | 地域住民 | 9,787 | 地活 | 7,560 | | 2,227 | 7,560 | |
| | 7 | 0 | 包括 | | | | 0 | |
| | 1080 | 0 | 介護 | | | | 0 | |
| | | 0 | 生活 | | | | 0 | |
| さつきリトミック | 地域の親子 | 63,136 | 地活 | 52,000 | | 11,136 | 52,000 | |
| | 104 | 0 | 包括 | | | | 0 | |
| | 500 | 0 | 介護 | | | | 0 | |
| | | 0 | 生活 | | | | 0 | |
| 科学実験教室 | 地域住民(小学生) | 7,200 | 地活 | 7,200 | | | 7,200 | |
| | 18 | 0 | 包括 | | | | 0 | |
| | 400 | 0 | 介護 | | | | 0 | |
| | | 0 | 生活 | | | | 0 | |
| ベビーマッサージ | 地域親子 | 5,568 | 地活 | | | 5,568 | 0 | |
| | 5 | 0 | 包括 | | | | 0 | |
| | 72 | 0 | 介護 | | | | 0 | |
| | | 0 | 生活 | | | | 0 | |
| ひまわりヨガ | 地域住民 | 21,600 | 地活 | 21,600 | | | 21,600 | |
| | 9 | 0 | 包括 | | | | 0 | |
| | 2400 | 0 | 介護 | | | | 0 | |
| | | 0 | 生活 | | | | 0 | |
| 絵手紙講座 | 地域住民 | 900 | 地活 | 900 | | | 900 | |
| | 3 | 0 | 包括 | | | | 0 | |
| | 300 | 0 | 介護 | | | | 0 | |
| | | 0 | 生活 | | | | 0 | |
| クニークルスと遊ぼう | 地域親子 | 5,700 | 地活 | 5,700 | | | 5,700 | |
| | 19 | 0 | 包括 | | | | 0 | |
| | 300 | 0 | 介護 | | | | 0 | |

平成30年度 自主事業収支報告書

| | | | | | | | | | |
|--|--|---|----|--|--|--|--|---|--|
| | | 0 | 生活 | | | | | 0 | |
|--|--|---|----|--|--|--|--|---|--|

平成30年度 自主事業収支報告書

| | | | | | | | | |
|------------|-----------------|--------|----|-------|--------|--------|--------|--------|
| モール講座 | 地域住民 | 17,500 | 地活 | | 15,500 | | 15,500 | 2,000 |
| | 16 | 0 | 包括 | | | | | |
| | 1000円・750円 2種選択 | 0 | 介護 | | | | | |
| | | 0 | 生活 | | | | | |
| ダンス塾 | 地域住民(小学生) | 500 | 地活 | | 500 | | 500 | |
| | 1 | 0 | 包括 | | | | | |
| | 500 | 0 | 介護 | | | | | |
| | | 0 | 生活 | | | | | |
| 脳活時間 | 地域住民 | 1,400 | 地活 | | 1,400 | | 1,400 | |
| | 14 | 0 | 包括 | | | | | |
| | 100 | 0 | 介護 | | | | | |
| | | 0 | 生活 | | | | | |
| 旅友 | 地域住民 | 41,864 | 地活 | | 28,500 | 13,364 | 28,500 | |
| | 41 | 0 | 包括 | | | | | |
| | 500 | 0 | 介護 | | | | | |
| | | 0 | 生活 | | | | | |
| 布遊び講座 | 地域住民 | 27,000 | 地活 | | 27,000 | | 27,000 | |
| | 54 | 0 | 包括 | | | | | |
| | 500 | 0 | 介護 | | | | | |
| | | 0 | 生活 | | | | | |
| 和菓子講座 | 地域住民 | 55,791 | 地活 | | 48,000 | 7,791 | 48,000 | |
| | 48 | 0 | 包括 | | | | | |
| | 1000 | 0 | 介護 | | | | | |
| | | 0 | 生活 | | | | | |
| ハーモニカキッズ | 地域住民(小学生) | 2,100 | 地活 | | 2,100 | | 2,100 | |
| | 3 | 0 | 包括 | | | | | |
| | 700 | 0 | 介護 | | | | | |
| | | 0 | 生活 | | | | | |
| さつき劇団 | 地域住民 | 38,000 | 地活 | | 20,000 | | 20,000 | 18,000 |
| | 90 | 0 | 包括 | | | | | |
| | 2000 | 0 | 介護 | | | | | |
| | | 0 | 生活 | | | | | |
| リズムマッサージ講座 | 地域親子 | 7,841 | 地活 | | 4,500 | 3,341 | 4,500 | |
| | 9 | 0 | 包括 | | | | | |
| | 500 | 0 | 介護 | | | | | |
| | | 0 | 生活 | | | | | |
| 七夕リサイタル | 地域住民 | 20,568 | 地活 | | 15,000 | 5,568 | 15,000 | |
| | 50 | 0 | 包括 | | | | | |
| | 300 | 0 | 介護 | | | | | |
| | | 0 | 生活 | | | | | |
| 七夕親子コンサート | 地域親子 | 8,000 | 地活 | | 5,000 | | 5,000 | 3,000 |
| | 25 | 0 | 包括 | | | | | |
| | 200 | 0 | 介護 | | | | | |
| | | 0 | 生活 | | | | | |
| 太鼓を作ろう | 地域親子 | 9,341 | 地活 | | 6,000 | 3,341 | 6,000 | |
| | 12 | 0 | 包括 | | | | | |
| | 500 | 0 | 介護 | | | | | |
| | | 0 | 生活 | | | | | |
| 手作りうちわ | 地域親子 | 3,027 | 地活 | | 800 | 2,227 | 800 | |
| | 2 | 0 | 包括 | | | | | |
| | 800 | 0 | 介護 | | | | | |
| | | 0 | 生活 | | | | | |
| 3B体操 | 地域住民 | 2,000 | 地活 | | 2,000 | | 2,000 | |
| | 4 | 0 | 包括 | | | | | |
| | 500 | 0 | 介護 | | | | | |
| | | 0 | 生活 | | | | | |
| 笑いヨガ | 地域住民 | 12,800 | 地活 | | 12,800 | | 12,800 | |
| | 21 | 0 | 包括 | | | | | |
| | 500 | 0 | 介護 | | | | | |
| | | 0 | 生活 | | | | | |
| トールペイント | 地域住民 | 9,741 | 地活 | | 6,400 | 3,341 | 6,400 | |
| | 4 | 0 | 包括 | | | | | |
| | 1600 | 0 | 介護 | | | | | |
| | | 0 | 生活 | | | | | |
| ハッピードロップ | 地域住民 | 2,400 | 地活 | | 2,400 | | 2,400 | |
| | 12 | 0 | 包括 | | | | | |
| | 200 | 0 | 介護 | | | | | |
| | | 0 | 生活 | | | | | |
| バレンタインパン講座 | 地域親子 | 14,341 | 地活 | | 11,000 | 3,341 | 11,000 | |
| | 11 | 0 | 包括 | | | | | |
| | 1000 | 0 | 介護 | | | | | |
| | | 0 | 生活 | | | | | |
| シュトレ作り講座 | 地域住民 | 35,741 | 地活 | | 32,400 | 3,341 | 32,400 | |
| | 27 | 0 | 包括 | | | | | |
| | 1200 | 0 | 介護 | | | | | |
| | | 0 | 生活 | | | | | |
| 足育講座 | 地域親子 | 3,341 | 地活 | 3,341 | 0 | 3,341 | 0 | |
| | 10 | 0 | 包括 | | | | | |
| | 0 | 0 | 介護 | | | | | |
| | | 0 | 生活 | | | | | |
| 歌の会 | 地域住民 | 5,100 | 地活 | | 5,100 | | 5,100 | |
| | 51 | 0 | 包括 | | | | | |

平成30年度 自主事業収支報告書

| | | | | | | | |
|-----------------|--------|-------|----|--|--|---|-------|
| | 100 | 0 | 介護 | | | 0 | |
| | | 0 | 生活 | | | 0 | |
| 本トモの会 (夏の怪談) | 地域の子ども | 2,000 | 地活 | | | 0 | 2,000 |
| | 3 | 0 | 包括 | | | 0 | |
| | 26 | 0 | 介護 | | | 0 | |

平成30年度 自主事業報告書

横浜市さつきが丘地域ケアプラザ 地域交流

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|---------|--|----------------------------|
| にこにこ茶話会 | 地域の高齢者を対象。介護予防、外出のきっかけを作り、見守りを目的に開催。月替わりのレクリエーションを企画して、参加者同士の交流をはかり参加中個人の様子をヒアリングし、見守りにもつながる活動を行った。シニアの男性ボラティアにも支える側で活動してもらっている。 | 基本月1回（8月、10月休会） 年間10回開催 |

| 事業名 | 目的・内容等 | 実施時期・回数 |
|---------|--|----------------------------|
| 介護者のつどい | 主に在宅介護介護者の交流、情報交換ができるようにする。介護者が抱え込んでいる悩みや疑問を皆で共有してリフレッシュできる雰囲気茶話会形式を目指す。 | 基本月1回（8月、1月月休会） 年間10回快哉 |

| 事業名 | 目的・内容等 | 実施時期・回数 |
|----------------------|--|-----------------|
| 地域支えあいネットワーク（地域福祉計画） | 地域福祉計画により、生活支援部門の協議体としての役割を担い、青葉台地域ケアプラザと合同で開催した。今までのボランティア登録システム運用に加えて、青葉台地区ゆるやか見守りネットワークへの人材発掘を目指した活動展開を行った。 | 基本年4回 年間4回開催 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|-----------------------|--|--------------------|
| さつき盆踊りの会（元気づくりステーション） | 区と地域包括支援センターが主導のもと立ち上げた元気づくりステーション。適度な運動として、楽しみながらできる「盆踊り」を通じ、身体機能向上、仲間づくり、いきがづくりを目標に行った。ケアプラザ秋祭りでの発表や地域のお祭りに参加した。 | 基本概ね月1回 年間10回開催 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|-------|---|------------------------|
| 食事会①② | 地域の見守りが必要な高齢者を招き、ひきこもり防止、親睦を図ることを目的に開催している。いきいきセミナー修了生（男性の高齢者）がボランティアをしている。食後は脳トレ、ハーモニカ演奏や声を出して歌うなどレクリエーションを行った。今年度から食事会①では食後の珈琲タイムを設けて地域のボランティアグループの活動支援と居場所づくりを目的に演奏会、折り紙などを取り入れて15：00迄の開催を始めた。 | 奇数月第2・第3水曜日 年間12回開催 |

| 事業名 | 目的・内容等 | 実施時期・回数 |
|--------|------------------------------|-----------------|
| みんなの麻雀 | 介護予防のための健康麻雀を地域住民が楽しむ居場所の提供。 | 毎月1回 年間12回開催 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|--------|---|------------------------|
| 健康体操①② | 身体機能の維持や改善を目的とする健康体操。運動不足の解消や定期的に仲間と交流することで介護予防の効果を期待する | 毎月第1.2.3月曜日 年間40回開催 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|---------------|--|--------------------------|
| 地域のシニアの居場所づくり | 各地区ごとに、民生委員が中心となって、在宅介護者や独居老人のコミュニケーション作り。茶話会形式で行い見守りもかねる。「おしゃべりサロン」「高砂会」「カエデの会」 | 各団体 月1回 各団体年間10～12回開催 |

平成30年度 自主事業報告書

横浜市さつきが丘地域ケアプラザ

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|-----------------------------|--|---|
| 子育てわいわ広場 | 子育てに関する相談や情報提供、交流の場を提供することで、育児不安の解消を図る。また他人に任せ育児疲れを解消できる時間を提供する。第3水曜日は読み語り、ピアノと声楽のボランティアが来館し情操を養っていく。民生委員さんが毎回参加することで、親子の見守り、専門機関との連携につなげる。地域のボランティアが参加し異世代交流 | 毎月3～4回実施 年間36回開催 |
| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
| 放課後支援プログラム | 園や学校の放課後に参加型のプログラムを取り入れ、子どもの見守りを行う。英語教育、学習支援、音楽教育、読書習慣、ダンス、体操、ヨガなど。子ども食堂実行委員の希望により各プログラムを提供していく。 | 各講座概ね 週1～2回 年間82回開催 |
| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
| 初心者麻雀30 | 引きこもり防止、脳の活性化で認知症予防につなげる。参加者同士の交流。講師ボランティア育成と活躍の場の提供も目的とする。未経験者を募り、2年毎に卒業し、任意で自主化をしてコミュニティーを拡げる。 | 毎月2回 2年間で卒業 年間23回開催 |
| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
| いきいきセミナー修了生 1～5期生の自主活動と共催事業 | 定年退職した男性が地域の仲間づくり、生きがい探しやボランティア活動を行う。調理実習や健康体操、施設見学など屋外活動も行う。主に食事会開催、麻雀講師、デイサービスボランティア、地域の祭りの手伝い、子育て支援のボランティアに参加。運営委員会会員向けの食事会にも協力している。年間でゴルフ、麻雀大会、ボーリング大会、散歩の会などを全期の有志が集って行う。 | 各期毎月2回 各期年間17～20回 開催 OB会年間4回開催 |
| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
| 余暇支援プログラム | 春・夏・冬期。休みの子どもの見守りを兼ねた、参加型プログラム。子ども食堂、科学実験教室、学習支援、※太鼓作りと参加型コンサート（フィリアホール共催）など | 季節ごとに数回 年間6回開催 |
| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
| 認知症サポーター養成講座 | （包括協働）さつきが丘小学校（4年生）、つつじが丘小学校（6年生）、谷本中学校（福祉部）、その他地域、事業向けに認知症についての正しい知識の啓発。30年度はキャラバンメイト講習会修了者で地域の方と小学校訪問をした。 | 年間3～4回 年間7回開催 |
| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
| がんばるんばさつき組 | 谷本中学校児童向けに中間・期末試験の前にプラザの貸館の空いた時間を自習スペースとして活用する。 | 年間6クール （1クール5日位 設定） |
| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
| いきいき手先講座 | 各種製作を通じ細かい手先の運動から脳の活性化をはかり、認知症の予防につなげる。また、仲間との交流を目的とする。（中国紐、ビース、吊るしびななど） | 毎月2回～3回 年間10回開催 |

平成30年度 自主事業報告書

横浜市さつきが丘地域ケアプラザ

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|-------------------|--|-----------------------------|
| 区民文化センター共催事業 | 夏子ども向けコンサートや3月の復興支援チャリティーコンサートに地域のボランティアと共に参画した。 | 年間2～3企画 8月1回、3月1回本番として開催 |
| はなみづき (配食サービス) | 独居で支援や見守りが必要な地域の高齢者へ手作り弁当を届けることで見守り活動を行う配食サービス。作り手のボランティアのいきがいくつくりと、担い手の発掘育成で地域の活性化をはかる。仲間づくりと、やりがい作り。 | 毎月1回 年間12回開催 |
| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
| 劇団さつき | 地域包括支援センターの権利擁護講座の中で防犯防止の啓発を寸劇で分かりやすく演技した。安心安全まちづくり荏田駅前パトロール出陣式、新荏田自治会などから出演の依頼を受けてボランティア団体として出演し活躍した。 | 定例会1回 その他稽古日変則 年間21回 |
| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
| さつきが丘秋まつり | 地域住民とボランティア、地域ケアプラザとがともに準備をすすめながら、地域住民やボランティアと交流し、絆を深める。地域に向けてケアプラザを周知する。小中学校、自治会との懇親。 | 年1回開催 |
| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
| 古典文学を楽しもう | 「枕草子」を中心に読み進めている。平成30年度は「平家物語」も始める。歴史背景、人物像に迫り、音読の機会も作り、声を出す機会もつくる。生きがいくつくり、仲間づくり、認知症予防。 | 概ね毎月3回 年間33回開催 |
| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
| メイプルキッチン | 地域の高齢者が支える台所。梅が丘地区の民生員と食生活等改善員、ボランティアが調理し食事を提供。食前に包括で体操や介護予防の話も行った。 | 月1回(外出もあり) 館内で年間9回開催 |
| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
| ハッピードロップ(読み語り講座) | 毎月定例で練習を行い、毎月1回「フェリーチェ」で子育て支援、毎月1回デイサービスでボランティアを行っている。恩田地域への訪問、絵本コンサートも行った。 | 定例会月1回 年間23回開催 |
| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
| 医療連携講座 | 長津田総合厚生病院の医師や協力医と連携して、テーマを設定の上健康に関する講座を開設。質疑応答や茶話会形式も取り入れて地域の見えないニーズや問題の掘り起こしにもつなげる。ケアプラザの事業への理解や活動の周知も目的とする。今年度は整形外科、眼科、在宅医療(認知症)などを取り上げた | 年間3回開催 |
| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
| 区社協連携講座 | 日本赤十字社の講師を招いて、生活に役立つ単発講座、地域に必要な人材を育成し根付かせることも目的とした、救命法などの資格がとてる講座を開設し、地域の基盤強化、新しい人材の発掘を狙う(4期修了)。修了生向けにフォローアップ講座開催。 | 年間6回開催 |

平成30年度 自主事業報告書

横浜市さつきが丘地域ケアプラザ

| | | |
|-------------------|---|-------------------------|
| 包括支援センター出張サロン、カフェ | ケアプラザの足を運びにくいエリアの方向けに、拠点を展開。現在、しらとりサロン（体操他）、つつじカフェ、しらとりカフェ。 | カフェ、サロン各所月1回 年間36回開催 |
|-------------------|---|-------------------------|

| | | |
|-----------|---|-----------------|
| 障がい児者支援活動 | 支援を必要とする地域住民にケアプラザの周知や制度を周知し、早期に支援に結びつくような切っ掛けをつくる。青葉区障がい者後見的支援室「ほっぷ」と協働で、地域向けの講座を開催する。その他障がい児者当事者や家族が参加できる活動をケアプラザで行う。 | 年1～2回 年間1回開催 |
|-----------|---|-----------------|

| | | |
|------------------------|---|--------|
| 地区社協と共催青葉台地区連合のハロウィン企画 | 地域の方に地区社協の活動を周知する。企画を通して青葉台CP、さつきが丘CPを地域の方に知っていただく機会とする。地域住民同士のコミュニケーション。商店街との協働。高齢者施設への訪問。 | 年間1回開催 |
|------------------------|---|--------|

| | | |
|-----------------|--|-----|
| さつまいも植え付け、収穫体験会 | エリアの畑をかりて、紅あずまを植え付け、観察、収穫し最後に食べながら交流する。子どもからおとな迄農業体験。特に子どもに作物が育つことに興味を抱かせ、植物の成長を観察。収穫の喜びを体験させる。最後に調理し食育につなげる活動にする。 | 年1回 |
|-----------------|--|-----|

| | | |
|----------|--------------------------------------|--------|
| 季節のコンサート | 七夕コンサート（声楽、子ども向け音楽）と四季の絵本コンサートを開催した。 | 年間7回開催 |
|----------|--------------------------------------|--------|

| 事業名 | 目的・内容等 | 実施時期・回数 |
|------------------|--|---------|
| Green's Baby さつき | 助産師を招いてベビーマッサージと母乳育児のアドバイス。その他産後の骨盤体操を行う。育児の悩みをヒアリングして、困難なケースは専門を通して区につなぐ。 | 年間10回開催 |

| 事業名 | 目的・内容等 | 実施時期・回数 |
|-----------------|---|---------|
| 科子ども科学教室「くじら」講座 | 恩田地域ケアプラザで立ち上げた子供に科学を伝承する会が地域に向けて講座を開きたいという目的で、当ケアプラザでも夏の余暇支援として開講する。 | 年1回開催 |

| 事業名 | 目的・内容等 | 実施時期・回数 |
|----------|---|-----------------|
| さつき子ども食堂 | あおば子ども食堂実行委員会との協働でケアプラザを貸す。地域の子どもたちと一緒に育み、潜在しているニーズを迅速に対応できる仕組み作りを行う。 | 週2回 年間100回開催 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|-------|--|---------------------|
| 朝活！体操 | 支えあいネットワークで募集した専門の講師が開講。包括保健師と保健活動推進員も共働して、椅子に座ってもできる体操を行い、体で負担を感じている箇所にはどの筋肉を伸ばすと有効か、また自宅でも毎日継続できるような指導を取り入れて進めた。 | 概ね月1回～2回 年間15回開催 |

平成30年度 自主事業報告書

横浜市さつきが丘地域ケアプラザ

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|----------|--------------------------|-------------------|
| さつきリトミック | 1歳から5歳（就学前）までの親子の居場所づくり。 | 概ね毎月2回 年間18回開催 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|--------|---|-------------------|
| のびのび体操 | 包括主導のもと体幹を鍛えて健康を維持することを目的に介護予防の一環として開催した。講座「アクティブセル | 月1回～2回 年間18回開催 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|--------|---|------------------|
| ヨガニサイズ | 包括主導のもと、専門の講師を招き、スクエアステップなども取り入れて介護予防につながる体操、脳トレを行った。 | 月1～2回 年間17回開催 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|--------|--|-----------------|
| さつき水墨会 | 経験豊富な講師を囲み、水墨画を通して交流や生きがいを見出す。年に1回展覧会や秋祭りでも多くの作品を展示している。 | 毎月2回 年間21回開催 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|--------|---|-----------------|
| ひまわりヨガ | エリア内の不登校の子どもが通う「みどりの学校ひまわり」と共働。ひまわり学校から講師を招き、地域の不登校のお子さまを抱えている家族のリフレッシュと地域住民への理解とボランティアの協力も視野に開講した。 | 毎月2回 年間23回開催 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|------------|---|---------|
| 運営協議会向け食事会 | 当館で食事を提供している団体とケアプラザの運営に携わっている構成員との懇親。30年度は「はなみずき」、「いきいきグループ」つつじが丘小学校の総合学習で生徒の竹で作った楽器の演奏、交流会をコーディネートした。 | 年間2回開催 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|------------|-----------------------------|---------|
| ボランティア育成講座 | 平成30年度は傾聴ボランティアについての講話を行った。 | 年間2回開催 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|--------|--|----------------|
| さつきシネマ | 生活支援コーディネーターと主導のもと高齢者の日曜日の居場所づくりと介護者のリフレッシュのための映画上映会を行った。見守りボランティアを育成した。 | 月1回 年間12回開催 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|-----|---|----------------|
| 歌の会 | ハーモニカ奏者の伴奏に合わせて季節の歌を歌う。声が出てくなくなっている方も気軽に参加し、自信がついてきた様 | 月1回 年間11回開催 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|--------|--|---------|
| イギリス紀行 | 講師を招いてイギリス紀行の映像と解説を楽しむ。旅のポイントも含めて最後は質疑応答の時間を設ける。 | 単発 1回開催 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|---------------|---|-----------|
| 福祉保健センター子育て支援 | 区の保健師、民生委員が0歳児の身体の発達やお母さんの育児相談にのる。年1回「ニコピカ歯磨き教室」を後援し歯みがき指導を取り入れた。 | 月1回 10回開催 |

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|-------|--------------------------------------|----------------|
| 心のベンチ | 傾聴ボランティアの普及のための、生活支援COと傾聴ボランティアとの勉強会 | 毎月1回 年間5回開催 |

平成30年度 自主事業報告書

横浜市さつきが丘地域ケアプラザ

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|-----------------|--|------------------------|
| 親子リラックス体操（背骨CO） | 乳児から未就園児までの親子が集う場。マットにお子さんを寝かしたままママの体操、親子のコミュニケーションの仕方を学ぶ。 | 毎月2回～3回 年間28回開催 |
| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
| バンビイングリッシュ | 放課後支援プログラム／講師を招いて、単語の読み書き、簡単な会話、英検5級の勉強などを進めていく。英語に親しむことが目的 | 月2～3回 年間21回開催 |
| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
| 古典文学を楽しむ会 | 今年は枕草子を読み進めた。参加者の希望に即して古典を読み進め、歴史背景、人物像に迫る。音読の機会も作り、声を出す機会もつくる。生きがいつくり、仲間つくり、認知症予防も目的に行っている。 | 概ね毎月2回土曜日 年間15回開催 |
| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
| さつき健康食堂 | 包括保健師との協働。発酵食品や薬膳、野菜の採り方他、健康講話と調理実習。会食を行う。 | 年間3～4回 年間4回開催 |
| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
| きれいヨガ | 呼吸を大切に優しいヨガ教室。健康づくりと仲間づくりと目的に行った。きれいヨガはケアプラザの夜間の貸館稼働率UPも目的として開催。 | 概ね月に2回 年間17回開催 |
| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
| 親あるうちに考える講座 | ほっぷと協働で講師を招いて講習会を起こい、ペアプラザとほっぷの活動周知と地域住民の支援。 | 1年間1回開催 |
| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
| 子ども。親子向け食育講座 | ）子育てママにピッタリの簡単レシピ体験 ヘルスマイト共催（青葉台地区） | 年間1回開催 |
| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
| 夏休み子育て支援 | 夏休み中の子どもや親子の居場所づくり。科学実験教室、ボ工作、手作りワークショップなど | 7月から8月の間に 各種講座10回開催 |
| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
| さつまいも植え付けと収穫体験 | しらとり台自治会長協力の元、エリアの畑をかりて異世代で農業体験を行った。6月に種付け、10月に収穫と試食会を行った。 | 年2～3回 3回開催 |
| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
| 権利擁護講座 | 毎年テーマを決めて開催。30年度は、安心ネットの講師を招き「今すぐできる整理術」と、寸劇を担う劇団員をボランティアとして5職種連携により育成し、その寸劇を取り入れて青葉警察署の講話と組み合わせた「防犯講座」を分かりやすく行った。 | 年間2回 |
| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
| 小袖会 | プロの講師に習う着付け。箆笥の中に眠る和装を引き出し、整理、活用の両面からアドバイスをもらいながら、着付けを学ぶ。 | 月2回 年間7回開催 |

平成30年度 自主事業報告書

横浜市さつきが丘地域ケアプラザ

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|---------------|---|-------------------|
| 夏の浴衣着付け講座 | 講師を招いて、浴衣の着付け方を学ぶ。自身のためのみならず子どものために来館した方も数名いた。着付けた浴衣でそのまま外出される方もいた。 | 年間2回開催 |
| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
| 干支人形を作ろう | 酉の人形を作った。人気で2回。 | 年間2回開催 |
| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
| 自主事業団体懇親会 | 自主活動団体の他登録団体で稼働している代表者に参加してもらい、避難経路の徹底、ケアプラザの運営への理解協力を求め、館内利用要項の確認などを行った。団体の自己紹介、茶話会も取り入れて顔の見える関係づくりにつながった。同日任意で認知症サポーター養成講座を行った。 | 年間1回開催 |
| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
| 旅友の会 | 紀行をスライドで紹介しながら仲間と楽しむ会。講師を招きスイス、イタリア、スペインの行程についてのアドバイス、写真を用いての講話に他国の魅力を満喫した。 | 年間3回開催 |
| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
| 子育て連絡会 | 青葉区子ども家庭支援課共働区、ラフールと連携し企画。地域の子育て拠点、児童民生委員が集まって情報交換会を行った。 | 年間1回開催 |
| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
| メイプルキッチン | シニアが作ることで元気になることをコンセプトにカレーランチを作って地域の方へ提供した。 | 毎月1回 年間8回開催 |
| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
| こピカ歯磨き教室 | 区との連携で未就園児向けに歯についての健康講話を行った。虫歯チェックも行った。 | 年間1回快哉 |
| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
| フラワーアレンジメント | プリザーブドフラワーも取り入れて季節感溢れるアレンジを、講師を招いて教わる。障がいのある方も参加している。生きがい、仲間づくりに繋がりグループ化を目指している。 | 年5～8回 年間8回開催 |
| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
| さつき茶道部 なごみ | 本格的な茶道具を使用し、講師を招きワンポイントレッスンのあと、お茶と茶菓子で会話を楽しむ。若年層方高齢者までの世代間交流と生きがいと健康づくり。シニアの見守りも兼ねたカフェになっている。地域の活動でボラティア出店も行う。 | 概ね毎月1回 年間7回開催 |
| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
| しらとりサロン | 谷間になっていてCPに通いにくい地域「しらとり台」住民が通えるために行っている | 毎月1～2回 年間21回開催 |

平成30年度 自主事業報告書

| 事業名 | 目的・内容 | 実施時期・回数 |
|------|--|---------|
| 園芸講座 | 年に2回、いきいきセミナー修了の男性ボランティア（いきいきG）と専門家により、季節の園芸に関わるワンポイントレッスンをを行う。平成29年度は青葉区民企画の「フラワーネックレスのための講座やプランターへ植え込みなども地域の方と行った。 | 年間回開催 |